

高耐久性レジンコンクリートパネルの利用による構造物補修

ASフォーム工法



ASフォーム工法は、ASフォーム(高耐久性レジンコンクリートパネル)の様々な優れた特性を活かした既存構造物の補修工法です。

また、新設構造物の埋設型枠として適用する事により、構造物の耐久性が向上し、ライフサイクルコストの低減を図ることができます。

ASフォーム工法の特徴

- ① 耐摩耗性に優れています。(普通コンクリートの約10倍の耐摩耗性)
- ② 水理特性(平滑性)に優れています。(粗度係数:0.0084)
- ③ パネル裏面突起は凸凹に形成されており、裏込め材との付着性に優れています。
- ④ 塩害・中性化・凍害・腐食性等に対する耐久性に優れています。
- ⑤ 埋設型枠であるので施工時に型枠の必要がありません。
- ⑥ 標準被覆厚→パネル厚:10mm+裏込め材:10mm~(現場条件に応じて変更対応可能です)

ASフォームの物性及び構造

物性値一覧

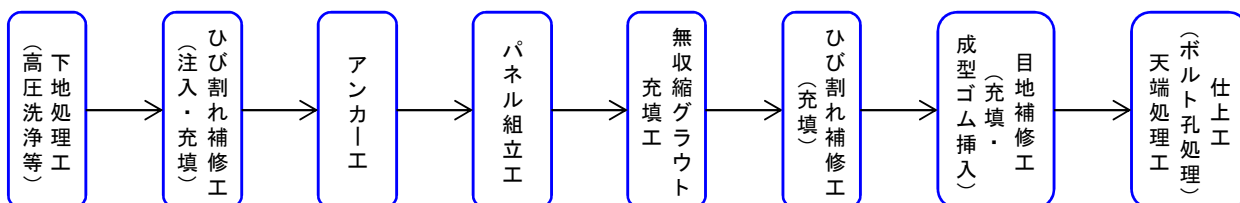
項目	特性値
圧縮強度	80N/mm ² 以上
曲げ強度	20MPa以上
静弾性係数	20GPa以上
耐摩耗性	普通コンクリートの約9.4倍
凍結融解抵抗性	105%

※上記の値は、規格値ではありません。

構造他

項目	特性値
板厚(突起部含む)	10(18)~30(38)mm
質量	25kg/m ² (t=10mm)
密度	22kN/m ³
ASフォーム製造可能範囲	2000(Max)×1000(Max) 板厚:30(38)mm

ASフォーム工法 施工フロー



ASフォーム工法の施工例

流下能力(粗度改善)・耐久性向上対策



農業水利施設補修

耐摩耗性向上対策



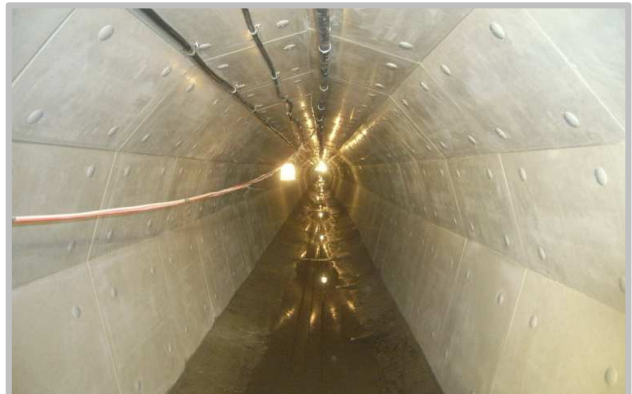
水路落差部補修

塩害・腐食・鉄筋かぶり不足対策



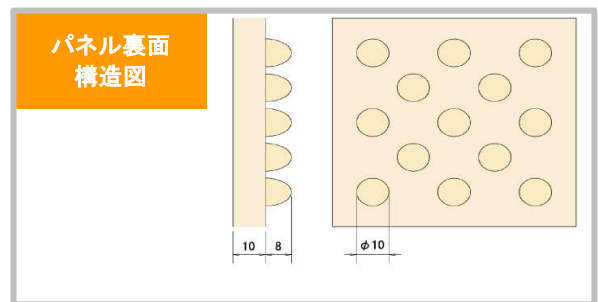
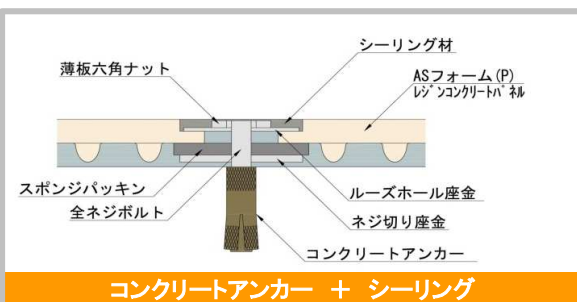
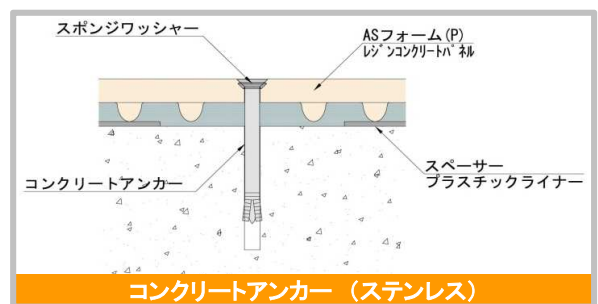
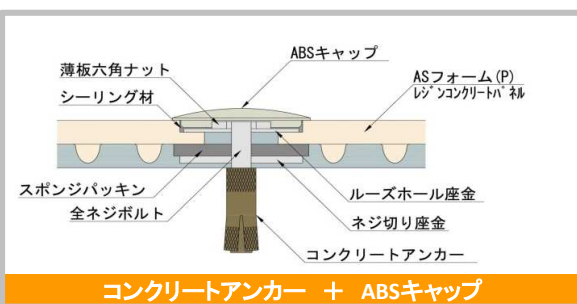
下水処理施設補修

コンクリート増厚による補強・耐久性向上対策



導水路トンネル補強

ASフォームパネル詳細 (固定仕様・裏面構造)



この内容は2019年7月現在のものです